

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	たっち		公表日			
			年	月	日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・活動内容に応じて机の配置の工夫や小チームごとの活動、畳コーナーやサロンなどに分かれての活動をしている	うに思う ・活動内容や机の配置等、安全面を十分に考えて行っていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		満たす人員配置を行っている ・特別な支援・配慮が必要な幼児童が利用の際、また活動内容に応じて職員の配置数には	今後も継続しておこなっていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・環境上の配慮には心がけてはいるが、新たに見直しや点検も必要であり、スタッフにも確認と報告を伝えている	ので、目立つようテープを貼ったり、すべり止めをつける等の対策を今後もおこなっていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎朝、清掃の時間を設け、清潔でこどもよく過ごせるよう努めている ・換気や消毒等を行い、清潔に保てるよう努めている	老化した備品、壁紙の交換、収納用具の増設
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・認められる環境ではあるが移動や使用の際は指導員に確認、承諾を得ていく、などのルールを設けている	今後も継続しておこなっていく
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・各職員が利用者の担当をし、毎日ミーティングにて振り返り・話し合いをしている	現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎年実施している。いただいたご意見や結果を踏まえて改善につなげている	現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・各々の意見等を出して話し合う機会を設けており、業務改善につなげている	現状に満足することなく日々改善を行える環境を作っていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・現時点では、利用者と事業所内の評価となっている	実施に向けては今後の検討課題として行く
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・毎月内部研修を行い、外部の研修にも業務に支障が内容参加に努めている ・研修等参加することでコミュニケーションが向上している	より多くの職員が研修に参加できる機会を確保できるよう努める
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		1月に作成済み。近日中に公表予定	今後も継続しておこなっていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		・支援計画は半年ごとに保護者様とモニタリングにて振り返りを行い、複数の職員の記録なども確認しながら評価し、ニーズや課題を客観的に分析して作成している	今後も継続しておこなっていく
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・全職員で課題や成長、変化、支援方法などについて話し合い、検討、作成している	今後も継続しておこなっていく
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・その日の利用者さんの支援計画には担当スタッフが目を通し、計画に沿った支援にあたっている	たっちに配属されて間もない職員に対して、丁寧な説明とアドバイスをとおこなっていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	日々の行動観察と、おこなった支援についての記録を問い、確認している	今後も継続しておこなっていく
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・ガイドラインに沿って個別支援計画を作成。個別支援計画の振り返りとともに、お子様や保護者様のご意向を確認して目標や支援内容を設定している ・就学前の利用者の方には本人支援、家族支援に十分な配慮を意識している	今後も継続しておこなっていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	事業所が大事にしている支援や利用者の将来の姿を意識したプログラムになるよう、全職員で意見を出し合ったり、そのプログラムの担当者ご同様に実現できるように準備、評価	今後も継続しておこなっていく

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・季節や各コースの利用者の特性や特徴を考慮し、工夫している ・土曜日活動は、特に利用者が興味を持って参加している ・個別支援計画に基づき、集団活動をメインとする中に個別活動も取り入れたり、個々の状況に応じて支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5			今後も継続しておこなっていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日、午前と午後でのミーティングをおこなっている ・支援内容や役割分担について確認している	今後も継続しておこなっていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎や保護者様との面談があり、支援終了後の時間には全職員での打ち合わせを行うことが難しいため、翌朝のミーティングで申し送りや振り返りを行い、共有している	送迎や保護者様との面談があり、支援終了後の時間には全職員での打ち合わせを行うことが難しい。送迎を行うドライバーの採用をおこなっている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGシステムの活動記録に行動記録、おこなった支援などを入力している。振り返りの場で話し合い、支援の検証や改善に努めている	今後も継続しておこなっていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6ヶ月に一度のモニタリングで見直しをおこなっている	今後も継続しておこなっていく
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		意識して組み合わせ、支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく
25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		課題活動を通して自己選択できるよう個々の特性も配慮した選択肢を用意し、自己決定を尊重した関わりや支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		必要に応じて参画している	今後も継続しておこなっていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じてそれぞれの機関と連携や情報提供できるよう体制を整えている	今後も継続しておこなっていく
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて受けることができるようにしている	今後も継続しておこなっていく
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	現在おこなっていないが機会があれば検討し、その機会を設けていきたい	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時には対面、他、連絡ノート、メール、電話などで伝え合っている	今後も継続しておこなっていく
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ペアレントトレーニングをおこなっている	・今後はペアレントトレーニングの他、ピアトレーニングも検討している ・お母様だけでなく、ご夫婦、祖父母で参加できるようにしたい
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	必要に応じておこなっている	今後も継続しておこなっていく
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		毎年、利用者の就学先の小学校と支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	コロナ禍以降、訪問ではなく電話や書面での方法を希望される小学校もあるが、今後も継続しておこなっていく
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1	必要に応じておこなっている	今後も継続しておこなっていく
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		専門家による研修を行い、助言をいただいている。外部研修も支援に支障がないよう調整して参加している	より多くの職員が研修に参加できる機会を確保できるよう努める
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		5	なかなか参加する機会がないが、今後、参加できるよう調整していく		
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	月末に次月の予定を確認。必要に応じて、送迎の場所と時間の確認と調整を行っている。	今後も継続しておこなっていく	

	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	ケース的にはほとんどないが必要に応じて行っている	
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	対象学年ではないため、おこなってはいませんが、今後必要がある場合はおこなっていく	
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		5	参加する機会がなく、参加したことがない	今後必要であれば参加していく
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明をしている。また随時、が不明な点など説明を求められた時は丁寧な対応に努めている	今後も継続しておこなっていく
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		お迎えの面談時やアセスメント、6か月ごとのモニタリングの際に、ご意向の確認や要望をうかがっている	今後も継続しておこなっていく
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	1	HUG上の個別支援計画を見ていただきながら補足も加えながら丁寧に説明し、同意を得ている	今後も継続しておこなっていく
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		6か月ごとの懇談時やお迎えの際だけでなく、保護者様の要望に応じて随時、面談や助言や支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		父母の会はおこなっていないが、親子イベントやペアトレをおこなう中で、保護者様同士の交流の機会を設けている。またその際、きょうだいで交流もある	今後も継続しておこなっていく
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談・苦情・申入れについては契約時に説明をし、それらがあつた場合は、上司に即報告し、対応している。	今後も継続しておこなっていく
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUGシステム内で活動や行事予定、連絡等を発信している。土曜日活動の様子は新聞を作成し、玄関に提示している	今後も継続しておこなっていく
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	全職員は個人情報に係る契約書を交わし、支援業務に従事している。また個人情報の書類などは施錠できる書庫で保管し、持ち出しは厳禁としている	今後も継続しておこなっていく
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様の特性やm理解に合わせたやり取りを心がけている。保護者様には、送迎時にお伝えしたり、必要に応じて電話もかけて確実に伝えているように努めている	今後も継続しておこなっていく
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	たつちではおこなっていない	
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		6か月に一回の懇談や保護者様からのご相談等については随時面談を行い、助言や支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル策定し、緊急時対応マニュアルは契約時に保護者様に配布している。また検討委員会を開催し、毎月職員の研修、年に2回地震や火災を想定した避難訓練をおこなっている	今後も継続しておこなっていく
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、定期的に訓練を行なっている	避難訓練だけでなく、救出等の訓練もおこなっていく
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメント時に確認したり、サポートブックと健康調査票を記入いただくことで確認している	今後も継続しておこなっていく
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	医師による指示書ではなく、保護者様からの情報を得て対応している	調理や市販のものを購入して食べる機会の際には、再度確認する
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	各マニュアルの中で安全計画を作成。定期的に読み合わせや点検・確認をおこない、安全管理に努めている	今後も継続しておこなっていく
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時にマニュアルをお渡し、必要項目を読み上げ、説明している	今後も継続しておこなっていく

58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事象が発生した場合は、報告書を作成し、職員間で共有し、対策について検討している	今後も継続しておこなっていく
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を実施し、職員間で認識の確認と適切な対応方法を学び、対応している	今後も継続しておこなっていく
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2	今まで、たちでは身体拘束は行っていないが、必要時には事前に説明をし、支援計画書に記載する	今後も継続しておこなっていく